



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年4月14日発行 第2789号

本日のプログラム

2021年4月14日(水)
通算第2966回例会
本年度第33回
WEB例会
例会次第

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・報告事項
- ・卓話

次年度会長 鈴木 政成君
「次年度会長方針」



前回例会 記録

2021年4月7日 第2965回例会

- ・出席報告 54名中44名
出席率 80%
- ・本人誕生日
加藤陽一君 大原道夫君
- ・ご夫人誕生日
加藤一夫君ご夫人雅子様
鈴木政成君ご夫人章子様
- ・行事
 - ・與儀武蔵君からお別れのご挨拶
 - ・野田由紀子君へ米山カウンセラー 感謝状授与
- ・卓話
 パスト会長 梶野 輝雄君
 「ロータリーでの思い出」
 パスト会長 山本 英雄君
 「The first, second and third impact
 ~ロータリーとの出会い~」

例会予定

-4月21日(水).....
WEB例会
-4月28日(水).....
休会
-5月5日(水).....
休会



第2965回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さん、こんにちは。本日は瀬戸ロータリー第2965回の例会であります。まずゲストの方をご紹介させていただきます。株式会社教育システム代表取締役長尾幸彦様であります。長尾さんは前回お話しさせていただきましたソラン学園の理事長さんであります。ゆっくりしていただきたいと思います。

そして4月5日に加藤唐三郎君が聖火ランナーとして走りました。藤井聡太君の代わりに走るということは勿論聞いていましたし、私も例会の時に紹介したのですが、この愛知県のトップランナーとは思っておらず、マスコミ、テレビ等で大々的に取り上げられ一躍全国区の顔となり、我々ロータリアンも嬉しく誇らしい思いでありました。無事に心臓発作を起こすことなく完走していただけたということで、なおさら嬉しい限りです。

さて4月になりました。4月はRIの月間といたしまして、母子の健康月間です。この話は来週の会長挨拶の中でお話しさせていただきますと思います。今日は先週に引き続きまして我々ロータリアンの根幹に関わる職業奉仕のパート2をお話しさせていただきますと思います。先週パート1で、私は今、このRIを中心とした職業奉仕の考え方は五大奉仕の中の一つの奉仕部門に過ぎないのだという考え方が世界標準の考え方だと言いました。かつての職業奉仕は格別の扱いとして我々は五大奉仕のランク上のものだという認識を持っていました。ところがもうすでにRIの世界標準では同列の扱いであります。今日、私がお話しするのは、この日本人が百年をかけて培ってきた職業奉仕論です。それは世界的にはどういった棲み分けになるかという職業倫理という扱いで、職業奉仕と職業倫理の二つの考えを棲み分けて考えなければいけないよ、

ということです。この日本人が考える職業奉仕とは1927年に四大奉仕として発表されました。この時の英語が vocational service でした。和訳に職業奉仕とつけたことから混乱が始まり、職業奉仕は難しい、複雑であるという議論が起こるようになりました。仕事という英語にもう一つ occupation があります。どのように違うかという occupation というのは数多ある仕事の総称、vocational というのは、どちらかと言うと、今の仕事が神から授けられた仕事、天職的な意味合いがあるそうです。初期の米山梅吉をはじめとした日本人は皆、英語が堪能でありましたから、この和訳の職業奉仕は使わず vocational service をそのまま使っていたと言われていました。私は、元々仕事に対しての感覚というのは、日本人と欧米人では少し違うのではないかと考えております。

日本人というのは一旦就いた仕事、例えばサラリーマンなら定年退職するまで、我々の様な職業人は死ぬまでその仕事を全うする考えであります。欧米人は、今この仕事をしていても、次に能力を高く評価してくれる仕事があれば変わっていく事に抵抗感が無い。むしろその方が能力の高い人間だと思うのです。そういった元々の違いがある上に、日本人はロータリーとは一業種一人から始まり、業界を代表とする人間として例会に集い、色々な異業種他業種の人集まりの中で切磋琢磨しながら自分の人間性を高めていく所にロータリーの素晴らしさがあり、その根本が仕事、職業であるという考え方は、それに加えて日本人のロータリーは一種の人生哲学である生涯の奉仕をベースに据えて、最もよく奉仕する者、最も多く報われるという実践哲学に基づいて活動をしていきます。

パスト会長 梶野 輝雄君 「ロータリーでの思い出」



1.入会

ロータリーで一番緊張したのが入会式です。私にとって初めての世界です。会長にロータリーバッジをつけてもらったときはとても感激したことを思い出します。2001年ですので20年前のことです。憧れのロータリークラブに入会できて嬉しかったことを覚えています。当時は入会者も多く同期は7人そのうち5人は現在も在籍しています。

2.初めての年末家族会

ロータリークラブの行事のうちでも年末家族会は大きな催しです。確かウエスティン名古屋キャッスルでした。サンタ、子供へのプレゼント、天守の間。キャッスルといえば結婚披露宴に招待されて行ったことがあるくらいでこのようなパーティーも初めての経験でした。

3.ガバナー輩出

瀬戸ロータリークラブから RI2760 地区ガバナーを出すことになりその会計を担当することとなりました。その時の思い出です。

イ、ガバナーノミニー年度

クラブで用意する資金

瑞穂ロータリークラブ 地区幹事さん、地区会計長さんにお聞きしました。資金計画書を見せていただくと我がクラブの資金力では全然足りません。大竹一義地区幹事とともにびっくり、本心どうしようかと思いました。

でももう始まっています。やるしかありません。

ロ、ガバナーエレクト年度

①エレクト事務所に予算がつきます。

②事務所はどこにある

利便性を考慮して、輩出クラブまたはその近くあるいは中区錦(伏見駅近く)の豊島ビルでした。

瀬戸クラブは豊島ビルでした。結構広い事務室と会議室2部屋でした。職員は青少年委員会担当1名、財団委員会1名専属 あと4名はガバナー事務所全般の業務を担当していました。職員は分室を含めて全部で6名すべて女性でした。分室がおかれたことはこの専門性も高く仕事量も多いからでしょう。

加藤陽一年度はガバナー事務所も分室もおなじ豊島ビルでした。

③職員の待遇

従来、ガバナー事務所職員はガバナー輩出クラブの職員として社会保険に加入したり源泉徴収したりしていました。

しかしガバナー事務所に一本化するとの方針で、職員との雇用契約もガバナー事務所内で交わし社会保険加入等の一元化しました。

給与の勤怠管理、振込、社会保険の届け出等まで業務すべてです。

ハ、ガバナー年度

いよいよ始まり予算書はガバナーの指示で作成します。

予算規模は約1億円、一般会計 特別会計(地区大会、青少年)約半分ずつです。

ニ、その後

RIへの会計報告と地区大会での承認を受けてその後、預金通帳の解約など残務整理。これで会計の仕事を終えました。

ホ、会計といえばやはりお金の管理です。

地区会計の収入のほとんどは地区内クラブからの分担金です。クラブの一覧表とチェックすればよいので手間はそれでもありません。支払いには職員が出金伝票を作成し、それを地区幹事と会計が決済します。その後に事務局からネットバンキングで支払いの承認依頼が来ます。それを私の事務所のパソコンで承認し支払います。預金の出入りもパソコンで確認していました。ガバナー事務所へ出向かなくてもよく大変重宝しました。もちろん給与振り込みもです。

パスト会長 山本 英雄君 「The first, second and third impact ～ロータリーとの出会い～」



本日は松村会長方針でのパスト会長卓話のご指名をいただきました。パスト会長と言われても、ついこの間終わったばかりで、正直あまりピンときません。又地雷を踏みそうなので、できるだけ昔話をしたいと思います。入会前の私が3つの出来事を通じてロータリーに出会い、感じたことを出来るだけそのままお話ししたいと思います。失礼の段はご容赦ください。

◎ファーストインパクト:

イングルウッド交換学生・1979年7月～8月

イングルウッド RC と瀬戸クラブとの姉妹交流の歴史については簡単ではありますが、会長時、挨拶の中でお話をさせていただきましたので省きます。当時、自分は23歳、学生が終わって、東京から戻り、そのまま会社に入って1年余りで、まだ仕事・会社にも、地元にも馴染めず、浮付いていた頃だったと思います。ある日、社長(親父)から、2週間ほどアメリカに行かせてやる、その前に2週間ほど向こうの学生が日本(瀬戸)に来るから面倒を見るよ…、と。

ロータリーの事業でと言われても全く意味は分かりませんが、タダで海外に行けて、仕事もサガれるのは、悪い話ではないので、喜んで承知しました。交換学生の事業とはいえ、初めての試みで学生だけでは心配だ、又、こちらに来た学生の面倒を見るのも大変だからということで、社会人である我々男子2人が選ばれたようです。態のいい運転手替わりです。

京都の外人向け鳩バスツアーや、白川郷、水曜は例会があるから、昼まで小原でも行って、必ず12時までに帰ること、夕方は井上滋さん宅でパーティだから6時まで時間つぶして、等々日本では本当にこき使われました。そしていよいよ渡航します。ロサンゼルス郊外、スカンクが路上でつぶれているような田舎町。ホームステイで多少は窮屈ですが、開放的な気分を味わうことができました。まだ帰りたくないな～という気持ちが通じたのか、帰りの飛行機で爆弾騒ぎがあり、アラスカに緊急着陸、ホテル待機、日本語も通じず大変な状況でしたが、当人たちは結構、楽しんでいました。焦ったのは家族や、会員の方々です。結局イングルウッドの尽力のお陰もあり、何とか、無事帰ってこられました。

ロータリーに振り回されたこの年の夏でしたが、その中で思ったことは、会員の方たちはいい年をした親父さんたちで、立派な方々ばかりなのに、クラブではまるで子どものように楽しそうだなということです。これが一つ目の出会いです。

それから15年ほど過ぎて・・・37・8歳ころの話・・・

◎セカンドインパクト:瀬戸北 RC 例会 1994年4月

青年会議所に入会、10年を過ぎて、理事長に指名され、それがたまたま創立40周年の年でした。又、それだけではなくその年にはもう一つ、大きな仕事がありました。それが、次年度の愛知ブロックの長を瀬戸に持ってくる事でした。

表の周年理事長の役目があり、裏では愛知ブロック関連の渉外業務で夜昼なく暗躍し、(家で夕飯を食べた記憶がないほど)忙しい1年でした。

そんな折、JCOBの伊藤光臣先輩からお願いがあると声をかけられました

「山本君、今年はJCの40周年、OBも大変喜んでます。そこで一つ、ロータリーの例会でPRのためお話をしてください。北には創立の理事長大竹金也さんはじめ、多くの先輩が見えます。でもほかのJCでない方はJCの事はあまりよくご存じではないので、この機会に理解を深める話をしてください。」もちろん、恐ろしいレジェンドといわれる先輩の前でJCの話なんかできるわけがないと頑なに辞退しました。しかし中々諦めてもらえず、とうとう根負けして引き受けてしまいました。内容としては、青年会議所の歴史を節目、節目の周年事業をポイントとして、設立より5年間理事長を務められた大竹金也先輩を前にしての創立当時の経緯、15周年伊藤純一郎先輩から始まる韓国密陽JCとの交流、25周年増岡弘之先輩時の社団法人格取得など、特にその場にお見えになる方を意識して時間を割きました。もう、ビクビクものでしたが、何とか予定通り話終わりました。5分ほど時間が余ったので、同行してくれた3人の副理事長に周年事業のPRをしてもらいました。すると皆緊張していて、ついつい話が長くなり、30分が過ぎても終わらず、5分過ぎるころから大変なブーイングが始まりました。その時は思ったのは、毎週お昼に集まって食事をする余裕のある人達が若い者にこんなにムキになって怒るのか、料簡の狭い人ただな・ということです。あくまで、その時はであります。これが2回目の出会いです。

◎サードインパクト:追悼法要例会・2000年9月

父がなくなったのが1999年7月14日、翌年の9月22日創立40周年記念事業の一環として宝泉寺で行われた例会にお招きいただきました。

周年事業ということで、5年か10年の間に亡くなられた方でしょうか、7.8名はお見えになっておられたと思います。親父も親しかった皆さんに、好きだったロータリーの例会で法要頂、喜んでるだろうと、自分もありがたく思いました。実際に仕事の引継ぎ事も忙しく、

入会のお誘いも、なかなか返事ができませんでしたが、これではあまり引き延ばすこともできないと観念し、翌年9月に入会させていただきました。

これらの話の通り、縁あって入会前にロータリアンの方々、例会の雰囲気等触れる機会がありました。お陰で、さほどの緊張や抵抗感なく、入会の気持ちになり、温かく迎えていただきました。長年皆様には大変お世話になっています。

これからはここで得た恩を何らかの形で返していきたいと思いません。

與儀武蔵君からお別れのご挨拶



こんにちは三菱UFJ銀行の余儀武蔵でございます。ロータリーに入会して2年と言う短い間ではありましたが、皆様方にはたいへんご指導いただき感謝を申し上げます。

入会させていただきロータリーに根付いている奉仕の精神とか、会員同士の固い絆と体感させていただけたことは、素晴らしい事でありました。

当行はよくグローバルと言う言葉を使います。グローバルに展開しながら軸足はローカルで地に足を付け支えていくということですが、まさにロータリークラブも同じような組織であると感じました。

転勤先は東京の本部の審査セクションとなります。コロナがなければガッツポーズの移動でありましたが、実際は約9割方は在宅勤務のようで、名古屋の自宅で仕事をすることになりそうです。いずれにしても私にとって新しいチャレンジになりますので頑張りたいと思います。

私の実家はここ瀬戸であり、お墓も春雨霊園にありますので、これからも瀬戸の街を歩いていることもあるかと思っておりますのでお声をかけていただければ幸いです。

後任は佐藤と言う女性で、引き続き瀬戸のためにがんばるよう申し送りしておきます。

本当にありがとうございました。

ニコボックス報告

2021年4月7日例会

パスト会長 梶野輝雄君・パスト会長 山本英雄君の卓話を楽しみにしています。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫 加藤唐三郎君！愛知県最初の聖火ランナーご苦労様でした。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫

卓話をさせていただきます。梶野輝雄

卓話させていただきます。山本英雄

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。加藤陽一

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。大原道夫

妻の誕生日をお祝いいただき大変ありがとうございます。鈴木政成

妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。加藤一夫

唐三郎君さん、聖火引継ぎご苦労様でした。久しぶりの明るい話題

でしたネ！加藤定江

なかなか先が見えませんが、まあ皆さん頑張らましよう。ということで申し訳ありませんが早退させていただきます。卓話が聞けず残念です。江坂正光

パスト会長 梶野輝雄君とパスト会長 山本英雄君の卓話を楽しみにしています！

青山貴彦、青山稔、井上博、大竹一義、大原道夫、岡村肇、刑部祐介、勝谷哲次、加藤克己、加藤克己(2021)、加藤恵子、加藤定江、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤光哉、加藤太伸、加藤陽一、加藤令吉、金谷康正、亀井勝、小池芳樹、小林稔、佐野一二、鈴木伸、鈴木光彦、高橋信郎、田中靖達、玉井徹、寺田悟、戸田由久、野田由紀子、牧オサム、松本哲也、山口記由、與儀武蔵

4月の誕生日・結婚記念日おめでとうございます！

大原道夫、加藤一夫、加藤太伸、小林稔、田中靖達、與儀武蔵